

Louis

デジタルギターアンプ

LGA-15Digi

取扱説明書

 島村楽器

安全上のご注意

次に示す注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、火災、感電、人身傷害など事故を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。また、本書はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。



警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、使用者が死亡するまたは重症を負うなどの重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対に行わないでください。
- 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
- キャビネットをあけないでください。
- 修理は販売店に依頼してください。
- この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

設置環境に関して

- 次のような場所での使用や保管をしないでください。
 - ・ 湿度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・ 雨に濡れる場所
 - ・ ホコリの多い場所
- 本機の背面と周囲との間には 15cm 以上確保し、正常な通気と冷却が妨げられない場所に設置してください。
- 本機の上に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。
- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

- 電源プラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コードにアース端子が付属している場合は、必ずアース接続を行って下さい。やむを得ずアース接続が出来ない場合は、アース端子の先端がコンセント含む他のものに触れないよう十分注意して下さい。機器の故障ならびに火災の原因になる恐れがあります。
- 付属の電源コードおよび AC アダプター以外をこの機器に使用しないでください。機器の故障ならびに火災の原因になる恐れがあります。
- 付属の電源コードおよび AC アダプターは、この機器以外には使用しないでください。AC アダプターの故障ならびに火災の原因になる恐れがあります。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードがショートを引き起こしたり、断線するなどして、火災や感電の原因になる恐れがあります。
- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差しをしないでください。
- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
- この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。
- 落雷の恐れがあるときは、早急に電源プラグをコンセントから外してください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源（POWER）スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。本製品は電源コンセントが接続されている場合、電源スイッチがオフになっていても、電源から完全に絶縁されていません。
- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 電源コードやプラグが破損したとき
 - ・ 異物が内部に落ちたり、液体がこぼりたりしたとき
 - ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
 - ・ 機器に異常な発熱が生じたとき

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット/アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。
- アンプの電源をオンにした状態でヒューズの交換をしないでください。また定格を超えたヒューズを使わないでください。
 - ※機器の安全の為にヒューズが装備されています。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れることもありますが、ヒューズが切れた場合内部に重大な故障が発生している可能性が有りますのでヒューズを交換する前に販売店にご相談ください。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

- ギター、シールド・ケーブル、エフェクターなどのケーブルの接続、取り外しはボリュームを「0」にするか、電源（POWER）スイッチを切ってから行ってください。プラグを抜き差しする際のノイズは誤作動やスピーカー破損など本製品に深刻なダメージを与える場合がありますので必ずご注意ください。
- 小さなお子様のご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたすらに注意してください。必ず保護者の方が監視/指導してあげてください。
- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、小さなお子様の手が届かないように配慮してください。

使用上のご注意

- 雑音が発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- 電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。
- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハムノイズ（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- 故障の原因になりますのでスイッチやツマミに必要以上の力を加えないでください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- また、至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上にごム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- 本製品の表面をお手入れする前に、電源コードをコンセントから外してください。
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。

はじめに

この度は Louis LGA-15Digi をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

LGA-15Digi はエフェクト、リズムマシーン機能、ルーパー機能、各種出力端子など、豊富な機能を装備しながらハイコストパフォーマンスを実現したデジタルギターアンプです。

ギターアンプ部分には 9 種類のアンプタイプに加え、4 種類のエフェクトタイプから一つを選択可能なモジュレーションエフェクトと、2 種類のエフェクトタイプから 1 つを選択可能な空関係エフェクトの 2 系統を搭載しており、多彩なサウンドメイキングが可能です。さらに、お好みのアンプセッティングを保存できるプリセット機能も装備しており、フットスイッチで瞬時に切り換えることもできます。

リズムマシーン機能にはロック、ポップス、ジャズなど 36 種類のリズムパターンが搭載されており、テンポやリズム部分の音量などを自由に調整することが可能です。また、ルーパー機能も搭載しており、簡単な操作で短いギターフレーズを録音したり、オーバーダビングしたりすることも可能です。

また、ヘッドフォンアウトに加え、MP3 プレーヤーなどと一緒に演奏を楽しむための LINE IN 端子、オーディオインターフェースに接続するための LINE OUT 端子、iOS および Android 端末での録音に使用できる専用の主力端子など、入出力機能も充実しています。さらに Bluetooth で携帯端末などを接続することができますので、ワイヤレスで携帯端末の音楽とセッションを楽しむことも可能です。

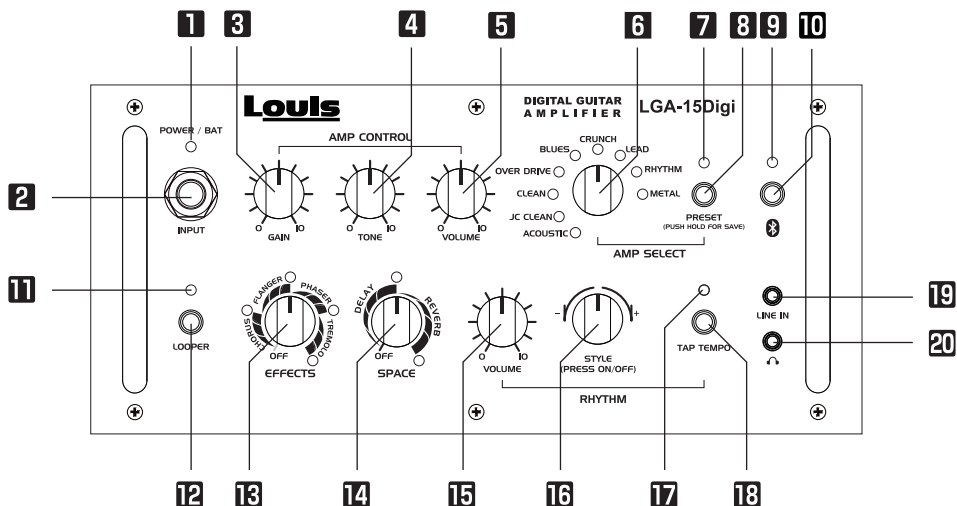
自宅練習、ライブパフォーマンス、レコーディング、ライブ配信など、様々なシチュエーションで活用可能な LGA-15Digi でワンランク上のギター演奏をお楽しみください。

仕様

商品名	: エレクトリック・ギター・アンプリアファイアー LGA-15Digi
AC アダプター入力	: 100V-240V、50/60Hz
AC アダプター出力	: DC15V/4A
内蔵バッテリー	: 11.1V /4.4Ah (リチウムバッテリー)
INPUT 端子入力感度	: -27.08 dBV
LINE IN 端子 入力感度	: -2.28 dBV
定格出力	: 15W
LINE OUT 端子出力インピーダンス	: 1K Ω
RECORDING OUT 端子出力インピーダンス	: iOS 1K Ω 、ANDROID 4.7K Ω
ヘッドフォン端子インピーダンス	: 32 Ω
スピーカー仕様	: 5.25 インチ /4 Ω /20W、2.5 インチ /8 Ω /15W
Bluetooth バージョン	: 4.0
ルーパー録音時間	: 最大 30 秒
サイズ	: W225 × D185 × H240mm (製品) ※ハンドル、ノブ、ゴム足などの突起部分を含む W112 × D83 × H43mm (フットスイッチ)
重量	: 4.2kg (本体)
付属品	: 電源コード+電源アダプター、取扱説明書/保証書、フットスイッチ フットスイッチケーブル、3.5mm 4pin ケーブル (スマホ接続用)

※製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

各部の名称と機能



1 電源 / バッテリー LED

電源オン及び充電状態の際に点灯する LED です。

AC アダプター接続中

- 赤色点灯 → 電源オン状態 (バッテリー満充電)
- 青色点灯 → 充電中 (電源オン時も充電中であれば青色点灯となります)
- 消灯 → 充電完了 (電源オフ状態)

AC アダプター未接続

- 赤色点灯 → 電源オン状態 (バッテリー使用中)
- 赤色点滅 → バッテリー残量無し (5分以内に自動的に電源がオフになります)
- 消灯 → 電源オフ状態

2 INPUT ジャック

フォンジャックの入力端子です。シールド・ケーブルを用いてギターと接続してください。

3 GAIN コントロール

プリアンプ部分の GAIN (ゲイン) を調整するつまみです。選択するアンプのタイプによりますが、このつまみを上げていく (右に回す) と歪みの量が増えます。

4 TONE コントロール

ギターサウンドの TONE (トーン) を調整するつまみです。左に回すと高域が減少しおとなしいサウンドに、右に回すと高域が強調されて明るいサウンドになります。

5 VOLUME コントロール

ギターサウンドのボリューム (音量) をコントロールします。0 にするとギターの音が出なくなります。右に回していくと徐々に音量が大きくなっていきます。

6 AMP SELECT

9 種類のアンプタイプを選択するつまみです。選択したアンプの LED が赤く点灯します。それぞれのアンプタイプの詳細は「アンプタイプについて」を参照してください。

7 の PRESET LED が点灯しているときはつまみの位置と点灯している LED の位置が異なるときがあります。再び AMP SELECT のつまみを動かすと、つまみの位置と LED が一致します。

7 PRESET LED

PRESET (プリセット) の状態を表示する LED です。LGA-15Digi にはアンプの設定を 2 種類切り換えることが可能で、そのうちのどちらが選択されているかを表示します。

- PRESET LED が消灯 → プリセット 1
- PRESET LED が点灯 → プリセット 2

となります。

8 PRESET ボタン

プリセット 1 とプリセット 2 を切り換えるボタンです。フットスイッチの PRESET を押しても同様の動作をします。

LGA-15Digi では、PRESET LED が消灯している状態

(プリセット1)でAMP SELECTやGAIN、EFFECTなどを調整して作成した音と、PRESET LEDが点灯している状態(プリセット2)で作成した音の2種類を切り換えて使用できます。

例えば、プリセット1側ではクリーントーンにコーラスとリバーブを効かせた音色。プリセット2側ではMETALサウンドにディレイを効かせた音色としておけば、バックギンとリードで使い分けることが可能です。

プリセットで保存されるのは、GAIN、TONE、AMP SELECT、EFFECT、SPACEの5つのパラメーターです。VOLUMEおよびRHYTHMセクションのVOLUMEとSTYLEの値は保存されません。

お気に入りのプリセットはPRESETボタンを2秒間押し続けることで、アンプの電源を切っても保存しておくことが出来ます。この保存も下記の通り2通り保存できます。

PRESET LEDが消灯の状態ではPRESETボタンを2秒長押し→プリセット1を保存

PRESET LEDが点灯の状態ではPRESETボタンを2秒長押し→プリセット2を保存

なお、プリセットを呼び出した状態で、AMP SELECTなどを変更すると、音色は新しい設定に変更されてしまいます。元々保存してあるプリセットを再度呼び出したい場合は、一度アンプの電源を切って再度電源をオンにすることで保存したプリセットに戻ります。

9 Bluetooth (ブルートゥース) LED

Bluetooth機器の接続状態を表示するLEDです。表示の詳細は10のBluetoothボタンの項を参照してください。

10 Bluetooth ボタン

LGA-15DigiとBluetooth機器を接続(ペアリング)するためのボタンです。

携帯音楽プレーヤーやスマートフォンなど、オーディオをBluetooth経由で再生出来る機器を接続すると、LGA-15DigiをBluetoothスピーカーとして使用することが出来ます。

Bluetooth機器とLGA-15Digiを接続するには、下記の操作を行って下さい。

1. Bluetooth ボタンを9のBluetooth LEDが青色で点滅するまで長押しします。
2. 接続するBluetooth機器(スマートフォンなど)のBluetooth設定画面を開き、機器リストから「LGA-15Digi」を選択して接続します。
3. 9のBluetooth LEDが青色点滅から青色点灯に切り替われば接続は完了です。
4. 接続を解除したい場合は、9のBluetooth LEDが消灯するまでBluetoothボタンを長押しします。

一度Bluetooth機器と接続すると、Bluetooth機器側がLGA-15Digiの機器情報を記憶しますので、2回目からは9のBluetooth LEDが青色に点灯するまで長押しするだけで接続が可能です。また、一度接続したBluetooth機器との接続情報を削除したい場合は、接続したBluetooth機器側の機器リストから「LGA-15Digi」を削除してください。

LGA-15Digiは同時に複数のBluetooth機器を接続することは出来ません。特定のBluetooth機器と接続中(9のBluetooth LEDが青色に点灯している状態)に、別のBluetooth機器へ接続を切り換えたい場合は、Bluetoothボタンを素速く2回押して下さい。9のBluetooth LEDが点滅に切り替わりますので、接続したいBluetooth機器の設定画面で、機器リストから「LGA-15Digi」を選択して新しい機器と接続してください。

オーディオの音量は、接続したBluetooth機器側で行って下さい。また、大音量で音楽が再生されることを防ぐため、再生する前に、接続したBluetooth機器の音量を十分に下げたから再生し、徐々に音量を上げるようにして下さい。

11 LOOPER LED

LOPPER機能の状態を表示するLEDです。詳しくは「LOOPER機能について」を参照してください。

12 LOOPER ボタン

LOPPER機能进行操作するためのボタンです。詳しくは「LOOPER機能について」を参照してください。

13 EFFECT コントロール

ギターサウンドにモジュレーション系のエフェクトを加えるツマミです。CHORUS(コーラス)、FLANGER(フランジャー)、PHASER(フェイザー)、TREMOLO(トレモロ)の4種類のエフェクトを搭載しており、ツマミの位置によってエフェクトの種類と効果の深さを調整することが出来ます。

周囲には4つのLEDが搭載されており、エフェクト名の後ろにあるLEDが赤く点灯して、現在どのエフェクトが使用されているかを表示します。

なお、ツマミを一番左に回すと、すべてのLEDが消灯し、エフェクトがOFFであることを示します。

各エフェクトの効果とツマミの位置による変化は下記の通りとなります。

CHORUS

ピッチを周期的にずらした音を混ぜて、2重奏のような効果を出すエフェクトです。
ツマミを右に回すほど周期が速くなります。

FLANGER

CHORUSと同様にピッチを周期的にずらした音を混ぜ、さらにその音を入力に戻して(フィードバック)何度も重ねることで特定の周波数を強調し、ジェット機の上昇下降音のようなうねりを得るエフェクトです。
ツマミを右に回すほどうねりが強調されます。

PHASER

位相をずらした音を加えることで干渉を生み出し、こちらもジェット機の上昇下降音のようなうねりを得るエフェクトです。
ツマミを右に回すほどうねりの周期が速くなります。

TREMOLO

音量を周期的に上下させるエフェクトです。
ツマミを右に回すほど周期が速くなります。

14 SPACE コントロール

ギターサウンドに空間系のエフェクトを加えるツマミです。DELAY (ディレイ)、REVERB (リバーブ) の2種類のエフェクトを搭載しており、ツマミの位置によってエフェクトの種類と効果の深さを調整することが出来ます。

周囲には2つのLEDが搭載されており、エフェクト名の後ろにあるLEDが赤く点灯して、現在のエフェクトが使用されているかを表示します。

なお、ツマミを一番左に回すと、すべてのLEDが消灯し、エフェクトがOFFであることを示します。

各エフェクトの効果とツマミの位置による変化は下記の通りとなります。

DELAY

ギターサウンドを時間的に遅らせるエフェクトです。遅らせた音を入力に戻し、何度も遅らせる事で、エコー(山びこ効果)を生み出します。
ツマミを右に回すほど遅らせる時間が長くなり、ロングディレイが得られます。

REVERB

ギターサウンドに残響を与えるエフェクトです。
ツマミを右に回すほど残響が深くなります。

15 VOLUME コントロール (RHYTHM)

ドラムサウンド(リズムマシン機能)の音量を調整するツマミです。

一番左では音量0、右に回すと音量が大きくなります。

16 STYLE 選択および RHYTHM オン/オフ

リズムマシン機能のオン/オフおよびSTYLE(パターン)を選択するツマミです。

ツマミは上から押すとプッシュスイッチになっており、押す度にリズム(ドラムサウンド)のオン/オフ(再生/停止)が出来ます。

また、パターンを再生中にツマミを左右に回すと36種類のドラムパターンを切り換えることが出来ます。ドラムパターンについては「リズム機能について」を参照してください。

17 TEMPO LED

リズム機能のテンポを表示するLEDです。設定されているテンポの4分音符に同期して赤いLEDが点滅します。

18 TAP TEMPO ボタン

リズム機能のテンポを設定するためのボタンです。このボタンを2回以上押すと(TAP)、その間隔を4分音符の間隔とするテンポに設定できます。例えば0.5秒間隔でTAPすれば4分音符=120のテンポに設定できます。

19 LINE IN 端子

mp3プレーヤーなどのオーディオ機器を接続してLGA-15Digiのスピーカーから再生するための端子です。

音量は接続する機器側で行って下さい。大音量で音楽が再生されることを防ぐため、**再生する前に、接続した機器の音量を十分に下げたから再生し、徐々に音量を上げるようにして下さい。**

20 ヘッドフォン端子

3.5mm フォンタイプのヘッドフォンを接続する端子です。この端子にヘッドフォンを接続するとLGA-15Digiのスピーカーからは音が出なくなりますので、夜間のギター練習などに便利です。

20 電源スイッチ

LGA-15Digiの電源をオン/オフするスイッチです。I側に倒すとオンになり、O側に倒すとオフになります。

5分以上音を出さない状態が続くと自動的にLGA-15Digiの電源がオフになるオートパワーオフ機能が搭載されています。オートパワーオフが働いたときはこのスイッチがI側に倒れていても電源がオフの状態となります。再び電源をオンにするときは、一度O側に倒してからもう一度I側に倒してオンにして下さい。



POWERスイッチをオンにする前に、必ずVOLUME (RHYTHM側も) コントロールが"0"であることを確認してください。VOLUMEコントロールが上がった状態で電源をオンにした場合、突然大きな音が出力され使用者の聴覚を害する恐れがあります。また突然の過大入力によりスピーカーが損傷することがあります。

22 AC アダプター端子

付属のACアダプターを接続する端子です。ACアダプターは100Vの家庭用コンセントに接続して下さい。なお、故障の原因となりますので、付属のACアダプター以外を接続しないで下さい。

23 iOS 用レコーディング出力端子

iPhoneなどのiOS端末にLGA-15Digiの音を録音するための端子です。付属の3.5mm 4ピンケーブルでiOS端末と接続して下さい(LightningおよびUSB-Cコネクターと3.5mm 4ピンジャックを変換するアダプターを使用して下さい)。

レコーダーアプリや配信アプリなどにLGA-15Digiの音を送ることができます。

24 Android 用レコーディング出力端子

Android 端末に LGA-15Digi の音を録音するための端子です。付属の 3.5mm 4 ピンケーブルで Android 端末と接続して下さい。

レコーダーアプリや配信アプリなどに LGA-15Digi の音を送ることができます。

25 LINE OUT 端子

ミキサー、モニタースピーカー、オーディオインターフェースなどに LGA-15Digi の音を送るための端子です。標準フォンケーブル（ギターシールドなど）で接続して下さい。

26 フットスイッチ接続端子（本体側）

付属のフットスイッチを接続する端子です。付属のフットスイッチケーブルを使用してフットスイッチの 28 と接続して下さい。

27 PRESET フットスイッチ

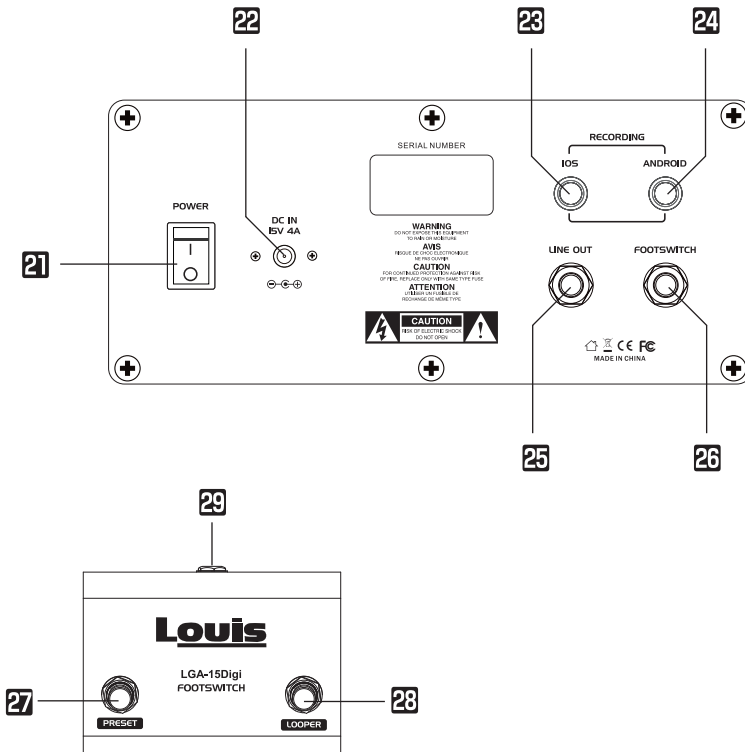
8 の PRESET ボタンと同じ機能をするフットスイッチです。

28 LOOPER フットスイッチ

12 の LOOPER ボタンと同じ機能をするフットスイッチです。

29 フットスイッチ接続端子（フットスイッチ側）

フットスイッチを本体に接続する端子です。付属のフットスイッチケーブルを使用して本体 26 と接続して下さい。



■ アンプタイプについて

LGA-15Digiには9つのアンプタイプが搭載されています。それぞれのアンプタイプは下記の様な特徴を持っています。

ACOUSTIC

エレクトリック・アコースティックギターを鳴らすのに最適なアンプタイプです。シンセサイザーやドラムマシン用のアンプとして使用する場合にも適しています。

JC CLEAN

中域を強調したクリーンサウンドのアンプタイプです。

CLEAN

やや中域を減衰させたシャープなクリーントーンが特徴のアンプタイプです。

OVER DRIVE

真空管アンプのソフトなオーバードライブを再現したアンプタイプです。

BLUES

倍音を多く含んだディストーションサウンドが特徴のアンプタイプです。

CRUNCH

クランチ系エフェクトペダルをシミュレートしたアンプタイプです。マイルドな歪みでバックングからリードまで使用できます。

LEAD

ハイゲインアンプの強力な歪みを表現したアンプタイプです。リードギターに最適です。

RHYTHM

中域と高域を強調したアンプタイプです。歪みを効かせたリズムバックングに最適です。

METAL

強力な歪みを作り出すことができるアンプタイプです。ヘビーメタルなどに最適なサウンドです。

■ リズム機能について

LGA-15Digiにはドラムパターンを奏でるリズム機能が搭載されています。

15のVOLUMEコントロール (RHYTHM) を0近辺に一度下げたから**16**のSTYLE選択ツマミを上から押してください。徐々に**15**のVOLUMEコントロールを上げていくとドラムパターンの音量が上がっていきます。

ドラムパターンを止めたい (リズム機能をOFF) 場合には、もう一度**16**のSTYLE選択ツマミを上から押しします。

LGA-15Digiには次のページの表の通り36種類のドラムパターンが搭載されています。

16のSTYLE選択ツマミを+の方向に回すと、パターン番号の数字が1ずつ増える方向にドラムパターンが切り替わります (ツマミにクリックが付いており、カチ、カチと音がして変化します)。逆に-方向に回すとパターン番号の数字が1ずつ減る方向に切り替わります。(36の次は1に戻ります。)

ドラムパターンのテンポを変えたい場合は、**18**のTAP TEMPO ボタンを2回以上押します (軽く叩くイメージです)。ボタンを押した間隔でテンポが決まりますので、変更したいテンポの拍に合わせて何度か押して下さい。**17**のTEMPO LEDが拍に合わせて点滅し、現在のテンポを表します。

※ LOOPER にフレーズが録音されているとテンポ変更ができません。テンポを変更する際は一度LOOPERの録音内容を消去してください。消去方法は「LOOPER機能について」の「フレーズの全消去」をご参照ください。



ドラムパターンリスト

パターン番号	スタイル	パターン番号	スタイル	パターン番号	スタイル
01	8Beat 1	13	PUNK	25	DANCE 4
02	8Beat 2	14	Drum'n'bass	26	3 / 4
03	8Beat 3	15	FUNK1	27	6 / 8
04	8Beat shuffle	16	FUNK2	28	5 / 4_1
05	16Beat 1	17	HIP HOP	29	5 / 4_2
06	16Beat 2	18	R&B	30	Latin
07	16Beat shuffle	19	POP 1	31	Ballade 1
08	Rock	20	POP 2	32	Ballade 2
09	Hard Rock	21	POP 3	33	BLUES 1
10	Metal1	22	DANCE 1	34	BLUES 2
11	Metal2	23	DANCE 2	35	JAZZ 1
12	SLASH	24	DANCE 3	36	JAZZ 2

LOOPER 機能について

LGA-15Digiには最大 30 秒間の録音が可能で LOOPER (ルーパー) 機能が搭載されています。

LOOPER 機能とは、演奏したギターフレーズを一定時間録音し、それを繰り返し再生しながらさらに演奏を重ね録りしたり、録音したフレーズに合わせてソロを弾いたりすることが出来る機能です。

LOOPER 機能は **12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを使用して操作します。

録音開始

12 の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを押した時点から録音が始まります。録音中は **11** の LOOPER LED が赤色に点灯します。

録音終了=ループ開始

録音中に **12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを押すと、**11** の LOOPER LED が緑色に変わり、録音開始から録音終了まで (最大 30 秒) の演奏をループ再生します。※厳密には録音開始も録音終了もドラムマシン機能の小節管理に同期しますので、ドラムの音を聞かずに録音を行うとタイミングがずれる可能性があります。LOOPER 機能を使用するときはドラムマシン機能のドラムパターンを聞きながら使用することをお勧めいたします。

オーバーダビング

ループ再生中に再度 **12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを押すと、再び **11** の LOOPER LED が赤色に点灯しフレーズを追加録音 (オーバーダビング) できます。オーバーダビングが終了したら再度 **12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチ

の LOOPER スイッチを押して再生モードにします。(LOOPER LED が緑色) なお、オーバーダビングは何度でも行えます。

オーバーダビングの取り消し

オーバーダビングを行って再生モードに戻った状態 (LOOPER LED が緑色) で、**12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを 1 秒以上長押しすると、LOOPER LED が赤色で素速く点滅し再び緑色に点灯して再生状態に戻ると、一つ前にオーバーダビングしたフレーズだけを削除することが出来ます。但し、一番最初に録音したループの基準となるフレーズは、この方法では削除できません。

再生の停止 (ミュート)

ループの再生中に **12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを素速く 2 回押すとループを停止 (ミュート) することが出来ます (LOOPER LED が消灯)。もう一度 **12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを押すと LOOPER LED が緑色に変わり再生が開始されますが、タイミングが常に最初のループに同期しますので、**12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを押すタイミングによってはループの途中から再生されることとなります。この機能はあくまでループのミュート (消音) と考えて下さい。

フレーズの全消去

最初に録音したフレーズも含めてすべてのフレーズを消去したい場合は、**12** の LOOPER ボタンまたはフットスイッチの LOOPER スイッチを素速く 2 回押し、2 回目を離さずに長押しすると LOOPER LED が消灯した

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない。

- ・コンセントにACアダプターの電源プラグは入っていますか？
- ・ACアダプター端子からACアダプターが抜けていませんか？
- ・バッテリーは充電されていますか？

■ 電源が切れてしまう。

- ・バッテリーの充電は十分ですか？
- ・オートパワーオフが機能していませんか？
- 電源を入れたまま音を出さず15分以上経つと自動的に電源がオフになりますので、再度電源スイッチを入れ直して下さい。

■ 電源は入るがスピーカーから音が出ない。

- ・ギターのボリュームが“0”になっていませんか？
- ・アンプのVOLUMEコントロールが“0”になっていませんか？
- ギターのボリューム、アンプのVOLUMEコントロールを徐々に上げていき音が出るかご確認ください。

- ・ギターまたはエフェクターの出力がINPUTジャックに正しく接続されていますか？
- INPUTジャックにプラグが正しく挿入されているかご確認ください。またエフェクターをご使用の際はエフェクターの出力(OUTPUT)側からアンプにつながっているかご確認ください。

- ・エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか？
- 接続している機器を全て取り外し、ギターからアンプへ直接接続した状態で音が出るかご確認ください。

- ・ギター、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか？
- 一度他のケーブルでもお試してください。

- ・ヘッドフォン端子にヘッドフォンなどが接続されたままになっていませんか？
- ヘッドフォン端子に何も接続しない状態でお試ください。

■ ドラムの音が出ない。

- ・VOLUME (RHYTHM) が“0”になっていませんか？
- ・STYLE ツマミを押して (オン) いますか？

■ LINE IN の音が出ない。

- ・接続した機器の出力ボリュームが“0”になっていませんか？
- 接続した機器の出力ボリュームを徐々に上げていき音が出るかご確認ください。

■ Bluetooth 機器の音が出ない。

- ・Bluetooth 機器との接続 (ペアリング) が出来ていますか？
- ・Bluetooth LED は青色点灯していますか？
- 点滅や消灯の場合はペアリングを再度行ってください。
- ・接続した Bluetooth 機器の出力ボリュームが“0”になっていませんか？
- 接続した機器の出力ボリュームを徐々に上げていき音が出るかご確認ください。

■ ノイズが出る。

- ・アンプの出力により周囲のものが振動 (共振) して音を出していませんか？
- 設置方法、設置場所によって音色が異なって聞こえる場合がありますので設置方法、設置場所を変えて確認ください。

- ・エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか？
- 接続している機器を全て取り外し、ギターからアンプへ直接接続した状態でノイズが出るかご確認ください。

- ・ギター、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか？
- 一度他のケーブルでもお試してください。

- ・ギターの弦高が正しく調整されていますか？
- 弦高が低すぎると、弦が指板に当たりノイズが発生することがあります。

- ・LOOPER LED が緑色に点灯していませんか？
- LOOPERに録音されたサウンドが再生されている可能性があります。LOOPER ボタンを長押しして消去して下さい。

■ クリーントーンのセッティングでも音が歪む。

- ・ギターやエフェクターの出力が大きくなりすぎていませんか？

- お使いのギターの種類や接続する外部機器 (エフェクターなど) によっては、出力が大き過ぎるために歪みを起こす場合があります。この様な場合には、ギターのボリュームを下げる、または接続した外部機器の出力レベルを下げるなどして音量を下げてください。

- ・アンプのGAIN ツマミを上げすぎていませんか？
- GAIN ツマミを左側に回し、GAIN を下げてください。
- ・電池を搭載しているギターの場合、電池残量は大丈夫ですか？
- 電池残量が少ないと、小さな音でも歪んだ状態になります。新しい電池に取り替えてからお試下さい。

■ TAP TEMPO ボタンを押してもテンポが変わらない。

- ・LOOPER 機能を使用中または既にLOOPERにフレーズが録音されていませんか？

- LOOPER使用中及びにフレーズが録音されている場合はテンポが変わりません (LOOPERのフレーズを保つため)。テンポを変更したい場合は、LOOPER ボタンまたはLOOPER フットスイッチを素速く2回押し (踏み)、2回目を離さずに押し (踏み) 続けてLOOPERのフレーズを消去してください。

❑ 故障などの場合

- この製品は、厳重に検査を終えた上で出荷されております。故障かな？と思ったら、お手数ですが上記の項目をぜひご確認ください。確認後、故障の原因が分からない場合は、お買い上げいただいた販売店にお尋ねください。また、修理をご依頼の際は、速やかに修理を行えるよう、症状を詳しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。